

会議録

| | | | |
|----------|--|--|----|
| 会議名 | 平成29年度第3回小金井市児童館運営審議会 | | |
| 事務局(担当課) | 児童青少年課 | | |
| 開催日時 | 平成30年2月7日(水) 午前10時～正午 | | |
| 開催場所 | 小金井市東児童館 | | |
| 出席者 | 委員 | 倉持会長、緒方委員、清水委員、吉田委員、関委員、岩重委員、山田委員、中川委員 | |
| | その他 | (欠席：山中委員、松田委員) | |
| | 事務局 | 大澤子ども家庭部長兼児童青少年担当部長、伏見課長、田中係長、森主査、大嶋主査、山田主任、前田主任、野村主事、東児童館(高野マネージャー) | |
| 傍聴の可否 | 可 | 傍聴者数 | 2名 |
| 会議次第 | <p>1 開会</p> <p>2 報告 東児童館委託先選定結果について/施設見学</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 平成30年度小金井市児童館事業計画について</p> <p>(2) 児童館事業について</p> <p>① 今後の児童館事業のあり方について</p> <p>② その他</p> <p>4 閉会</p> | | |
| 会議内容 | <p>2 報告 東児童館委託先選定結果について</p> <p>昨年11月29日にプレゼンテーション、ヒアリング等により選考を行い、現在の委託先であるNPO法人ひ・ろ・こらぼ、が選定された。市ホームページ、市報に選定結果は掲載済みであり、現在、契約手続き中。(伏見課長)</p> <p>※ 以下は、各館担当者より説明、要点報告ののち、各委員からの主な発言、質疑、事務局側回答等を要約。</p> <p>2 東児童館施設見学</p> <p>○感想1：施設の形状が広いのもあるが、ごみ箱の分別指導や掲示物の形態、更新状況もよい。職員の努力で子どもが気持ちよく使える状況になっているということだろう。(倉持会長・吉田委員)</p> <p>○感想2：学童保育と共用の屋上スペースについて、職員も気をつけており問題も起こっていないとのことだが、フェンスの高さや一部段差(撤去済みの古い空調機器の室外機置き場だった場所)に対して、ボール遊びを認めている点が気になる。(倉持会長・関委員・清水委員)</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 平成30年度小金井市児童館事業計画について</p> <p>(2) 児童館事業について</p> <p>○要点報告：4館合同事業については、移動児童館「わんぱく号」、夏休み</p> | | |

| | |
|------------------|--|
| | <p>の野外事業である「わんぱく団」、小金井市子どもの権利に関する条例の主旨を生かした「小金井市じどうかんフェスティバル」を継続する。なお、小金井市子どもの権利に関する条例は30年度末に丸10年となることから、それを冠とした事業展開を31年度に実施すべく計画中。また、直営3館の開館延長の試行について、現時点で開館延長を実施していない土曜日と学校長期休業期間中について、児童館運営検討委員会など内部での検討を重ねて、30年度内の試行を予定。(伏見課長・森主査)</p> <p>○質問：じどうかんフェスティバルについて、毎回、小金井第三小学校で開催されており、他のエリアの小学生が行きにくい。他の小学校の体育館も含め持ちまわりにできないか。また、50周年記念行事の際のように、こがねい宮地楽器ホールを使えないか。(山田委員・中川委員)</p> <p>⇒ 小金井第一小学校や本町小学校も検討しているが、他の体育館使用行事とのスケジュール調整の問題や各校の校長先生の考え方もある。こがねい宮地楽器ホールは、行政が使用する場合でも料金を支払わないといけないので、前年度から予算要求が必要。再来年度に向けて検討中。(森主査)</p> <p>○質問・意見：直営館での通年5時半までの開館延長試行は、利用者アンケートで要望が多い等の結果があって実施するのか。本当に5時半までがいいのか。学校の下校時間が遅くなっているので閉館時間が遅くなれば家に荷物を置いてから児童館へ行っても事業に間に合う。ただ、季節によっては暗くなるのが早いので季節により閉館時間を変える等はどうなのか。利用者の声などで試行の結果を検証していくのは大事。(吉田委員・山田委員・岩重委員・倉持会長)</p> <p>⇒ 現在の試行は小学校の授業時間拡大で子どもたちが児童館に来館するのが午後3時以降になったことへの対応。基本的に直営館、委託館のサービスに隔たりのない形とするために、少しずつ見直していかなければならない。直営館は職員の勤務体制により今のところ5時半までだが、行革に合わせ全体的な見直しが今後必要になる。多くの方々の意見を元に地域の子どもたちにとって何が正しいのか、妥当なのか、考えていただきたい。(森主査)</p> <p>○意見：直営館の比較で本町児童館の職員数が少ない。試行による時間延長の受け皿となる職員数を配置してほしい。(中川委員)</p> <p>⇒ 直営館は基本的に8時半から午後5時が勤務時間。時間をずらしながらの対応となる。試行事業は今後の職員との協議の中で勤務体制を検討していく。(伏見課長)</p> |
| <p>配付資料</p> | <p>(事前配布)</p> <p>平成30年度小金井市児童館事業計画(四館合同事業・各児童館事業)</p> <p>(当日配布)</p> <p>①次第 ②じどうかんたより(平成30年3月号)</p> |
| <p>伏見児童青少年課長</p> | <p>おはようございます。本日はお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。定刻前でございますが、出席予定者がおそろいでございますので、始めさせていただきます。</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>本日、松田委員、山中委員2名におかれましては、欠席のご連絡をいただいております。初めに、資料の確認をさせていただきます。事務局より説明いたします。</p> |
| 田中児童青少年係長 | <p>おはようございます。資料の確認をさせていただきます。本日、机上にお配りしたものの、本日の次第が1部、それと3月のじどうかんたより、でございます。また、事前資料として平成30年度小金井市児童館事業計画（四館合同事業・各児童館事業）をお送りし、あらかじめお目通しをお願いしてございます。ご不足等ございましたら事務局までお申しつけください。以上です。</p> |
| 伏見児童青少年課長 | <p>資料の過不足等は大丈夫でしょうか。それでは、会長、お願いいたします。</p> |
| 倉持会長 | <p>皆さん、おはようございます。それでは、平成29年度第3回小金井市児童館運営審議会を始めたいと思います。</p> <p>本日は、報告が1件、それから東児童館について館内見学をお願いして、主な議題としては、来年度、平成30年度の児童館事業計画について、になっています。</p> <p>それではまず、報告事項です。東児童館事業運営業務委託の報告、また、その選定結果について課長から、お願いします。</p> |
| 伏見児童青少年課長 | <p>はい。昨年11月29日にプレゼンテーション、ヒアリング等により選考を行いまして、現在の委託先であるNPO法人ひ・ろ・こらぼが選定されましたので、ご報告申し上げます。なお、今回の選定結果につきましては、12月中旬に選定参加者に通知の後、市のホームページへ掲載をいたしました。市報1月15日号にも同じご報告をさせていただきます。</p> <p>選定候補者となりましたひ・ろ・こらぼとは、本日、東児童館の事業計画(案)としてご説明する内容も含め、契約締結手続を現在進めている状況でございます。なお、委託額については選考時にひ・ろ・こらぼから提示されました年間2,786万円で、今年度予算において債務負担を設定済みの上限額2,800万円の範囲内となっております。報告は以上でございます。</p> |
| 倉持会長 | <p>はい、ありがとうございました。何か皆さんのほうからご意見、ご質問等、ございますか。</p> <p>はい、それでは、館内見学をさせていただければと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。</p> |
| | (館内見学) |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございました。それでは、皆さんから何かご質問や、ご意見や、感想など、一言ずつでも。</p> <p>私は、前回の本町児童館の印象がすごく強いので、東児童館の間取りは広々というか、ゆとりがあるという印象が。ちょっと比較するのはあれですけども、充実しているなと思いました。皆さんいかがでしょうか。</p> |
| 岩重委員 | <p>ほかの児童館がどうだったか、ちょっとよく思い出せないんですけど、ごみ箱がああいうふうに設置されていて、分別もできるようにというのは、今、公園とかでもあんまりごみ箱を使っていないので、すごく新鮮というか、ごみをほったらかさないという意味ではいいのかなと思いました。ごみを持ち帰りし</p> |

| | |
|---------------|--|
| | ていないのもすごく新鮮に感じました。 |
| 倉持会長 | ふつう公共施設はごみの持ち帰りが原則ですからね。小金井市は、ごみはセンシティブな問題だと思いますけど、子どものときから、ああいうごみ箱でちゃんとしたリサイクル意識を楽しく学べるというのも素晴らしいことですよね。では、関さん、どうぞ。 |
| 関委員 | 以前も2階の屋上のところを見て思ったんですけど、コンクリートの段差が残っていて危ないなというのと、転倒したときになにかガードをつけていても、やっぱり素材自体が固まったりとかして、そうすると切れるかなあなんて思いました。 |
| 倉持会長 | 屋上のところですね。どうですか、その辺、安全の配慮というのはどんな感じでやっていますか。 |
| 事務局（高野マネージャー） | 一応ここが危ないよというふうな声かけはしています。以前は角のところにやわらかい素材を張ってみたんですけど、外なので長い時間もたなかったこともあります。逆に半分剥がれたところが危なくなってしまったので、今は職員が気をつけて見るという対応となっています。 |
| 倉持会長 | 屋上は特に利用の年齢、学年制限とかはしてないですね。 |
| 事務局（高野マネージャー） | 特にしていません。 |
| 倉持会長 | 使うときは職員さんがどなたかいらっしゃる？ |
| 事務局（高野マネージャー） | 見回るようにはしています。常にいるわけではないですが、危ない遊びをしていたら常に注意できるように対応しています。 |
| 倉持会長 | 今まではそんなに大きな事故が起こったことはないということですね。 |
| 事務局（高野マネージャー） | はい。ありません。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。 |
| 吉田委員 | 吉田です。今、1階ロビーに子どもたちの意見を掲示していて、あと2階にもひろばのご意見箱がありますが、例えば大人からの意見を受けつける環境はどうですか。大人の意見というのは、例えばどういうものが入るのかなと思って、ちょっと伺いたいです。 |
| 倉持会長 | いかがでしょうか。 |
| 事務局（高野マネージャー） | 下の意見箱も、大人の方も書いていただいているのですが、大人の方は、どちらかというとひろばのほうが、意見は多いです。また、意見箱に書いていただくというよりは、先ほどひろばの中でご案内したひろばアンケートにいろいろ書いていただいたりしています。もう少しベランダで遊べる遊具が欲しいとか、おもちゃの種類を増やしてほしいとか、そういう点は、ひろばのアンケートで取得しています。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。 |
| 中川委員 | 中川です。2階の常設子育てひろばとか、お母さんたちからの声というのがアンケートから出たんですけど、朝から夕方まで、長い時間やっているのはとても助かると書いてあったので、そういうところは、自分も子育て時代、そう |

| | |
|---------------|---|
| | <p>いう空間があるというのはとてもありがたいなと思ったのと、やっぱりストレス的に余裕があるので、何かあっても目が行き届いている、そういう点ではすごくいい場所だなと思います。</p> |
| 倉持会長 | <p>飾りつけも、利用者さん相互でいろいろ活動されているというのがわかりますね。はい、お願いします。</p> |
| 山田委員 | <p>山田です。2階の常設ひろばはいいなとやっぱり思います。それと、下の遊戯室は使えないんですか。</p> |
| 事務局（高野マネージャー） | <p>別の事業が遊戯室に入っていない、空いている場合は使えます。</p> |
| 山田委員 | <p>うちの子はまだ歩かないんですけど、ちょっと歩くようになると、上ではちょっと狭いかなと。赤ちゃんと一緒に、親がはらはらするというか、1階も使えるといいなと思います。</p> |
| 倉持会長 | <p>今は、空いている施設を有効活用していただいているんですね。緒方さん、いかがでしょうか。</p> |
| 緒方委員 | <p>私も大分前にジュニアリーダーの活動に協力させていただいたときにお訪ねしたときと大分配置も変わってたりしていて、常設ひろばのほうも初めて見させていただいて、先ほどの会長のお話のように、本町児童館を最初に見たので、広々として、遊戯室もすっきりしているので、見通しがきいていいなと思いました。また、おもちゃ病院のボランティアが今日あるということで、たくさんの方がいらして、ちょっとした時間だったんですけども、苦労話もお伺いできて、でも、あれだけの方がボランティアで来ていただいているというのは、地域の方も、本当にそういう方がいてくれるということでも、ありがたいなと思います。</p> |
| 清水委員 | <p>私も初めて来て、とても温かみのある建物だなというのが、第一印象でした。何で東児童館は常設子育てひろばができるのだろうと思ったら、あんなに立派な専用の部屋があって、常設でのひろば事業ができるんだとわかりまして、乳幼児を持つご家庭にとっては恵まれた環境だと思いました。</p> <p>先ほど関委員がおっしゃっていた屋上の遊ぶところについては、ボール遊びをすとの話でしたが、フェンスがあの高さでボール遊びというのが、ちょっと気にかかりました。以上です。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございます。施設の面で本町よりも広々としているというのはあるんですけど、私自身、もう一つ、気づいたのは、掲示物とかが、常に更新されている感じがすごくするというか、張りっ放しじゃないんだろうな、という感じがすごくするというんでしょうか。</p> <p>すごく小まめにかえていらっしゃるんだろうし、あと、掲示してあるものも、子どもたちの目にとまるように工夫されていたり、すごく大きなものが張ってあったり、子どもたちの目が行くように、職員の皆さんの努力という部分もあ</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>って、子どもが気持ちよく使えるということだろうと思いました。</p> <p>もちろん、それは施設の条件的なものがあるんでしょうけれども、非常に大切だなというふうに思いました。</p> <p>それと、やっぱりおもちゃ病院のおじ様が、とても生き生きとして、人数もそうですし、非常にやりがいを持って、毎月いらっしゃる。定期的に来てくださるというのありがたいなというふうに感じます。地域のそういう連携というか、体制というのもいいなと思いました。</p> <p>ただ、屋上の安全面や、あるいは近隣とのかかわりみたいなことも少しあるかもしれないですね。何か追加でありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、本日の議題に入りたいと思います。</p> <p>まず初めに、平成30年度の小金井市児童館事業計画についてということを見ていきたいと思えます。では、皆さん、お手元に事前配付されております資料があると思えますので、それをご参照ください。説明を、まず全館合同事業プラス各館ということで、それぞれ見ていただきたいと思えます。時間も限られておりますので、要諦の部分を中心に、特に29年度、前年度から比べて何か大きく変えたり、改善したりというところがあれば、その部分を中心にご報告いただければと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> |
| 事務局（森） | <p>それでは、順を追って、資料のもとに、平成30年度 小金井市児童館四館合同事業計画、それから本町児童館、東児童館、貫井南児童館、そして最後に緑児童館という順で、簡単に確認という形で説明をさせていただきます。着座のまま、失礼いたします。</p> <p>平成30年度小金井市児童館四館合同事業計画（案）とあります。共通の事業計画ではなく、合同の事業計画になります。</p> <p>小金井市には、昨年7月の会議でもお示した児童館運営基本方針というのがございます。それに基づいて、各児童館でさまざまな行事を計画し、子どもたちとの関係等全て、毎日の日常は進行していきませんが、その中で、各児童館の行事ではなく、各児童館から担当者を出し合い、合同で行う事業が幾つかあります。その中で大きなものが3つあります。</p> <p>1つは、2番の（2）です。野外体験や地域の環境保全の働きかけの場としての移動児童館事業。都立武蔵野公園くじら山で毎年40年以上にわたって行っております。当初は、児童館のない地域に児童館をと、地域のニーズに応える形で行った事業であります。</p> <p>南小学校及び第一小学校の地域に児童館がないということで、地域のお母さんたちが市に働きかけたことにより始まりました。その主旨としては基本的には地域の野外事業に恵まれた場所というのを守っていこう、あるいは知ってもらいたいという思いを込めて行っている事業となりました。月に1回が原則ですが、ほかの事業との関係でやらないときもありますので、基本的に年間で9回実施しています。くじら山周辺の自然を使って野外料理、オリエンテーリングやスポーツといった行事を行っています。</p> <p>次に8月後半に「わんぱく団」があります。これも同じ都立武蔵野公園くじら山の原っぱ及び野川を使いまして、8月の後半に計6日間で行います。市内</p> |

| | |
|------------------|---|
| | <p>の小学生を合計75人ほど募集してグループをつくり、中学生から学生、社会人のボランティアとともに廃材で小屋を建てたりとか、野外で料理をやったりとか、地域の人たちの協力のもとに行ってきております。これも、移動児童館同様、40年以上の歴史があります。</p> <p>3番目ですが、「小金井市子どもの権利に関する条例」の条項を活かし、小学生以上の子どもたちが主体的にかかわる事業「小金井市じどうかんフェスティバル2018」があります。今年度の内容は、11月に、小金井第三小学校の体育館を借りまして、子どもたちが歌ったり踊ったりして、それをみんなで盛り上げていくということと、各児童館で子どもたちが考えた、いろいろなお店ブースを開くことでした。そこでたくさんの人たちにいろいろ児童館のことを知ってもらおうということも目的としました。</p> <p>これについては、子どもの権利に関する条例の制定後、子どもたちの意見をもとに、あるいは子どもたちの主体的な活動の場として、何か事業を行えないかというところから考え、毎年続けてきました。さまざまな事業を行ってききましたが、ここ5年間は体育館や昨年度の小金井宮地楽器ホールでも同じようなイベントになっています。毎年6月くらいから子どもたちが集まって、何をしようかというところから始めて、企画準備、それから実際の運営と、子どもたちを中心に行っています。児童館フェスティバルという名前が定着してきたので、来年度も2018ということで予定しています。</p> <p>補足ですが、小金井市子どもの権利に関する条例は、30年度末に制定から丸10年になるというところで、それを機会に、31年度はそれを冠とした新たな事業を、じどうかんフェスティバルに組み込む計画でいます。</p> <p>以上の3つが合同行事の柱です。何かご質問等ありましたら、よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>伏見児童青少年課長</p> | <p>これから各館についての説明をさせていただく前に、私のほうから若干補足をさせていただきます。</p> <p>この四館合同事業計画(案)の2の(1)でございますが、今、直営3館の開館延長の試行を、今は一定時期しか行っていないわけでございますが、通年で17時半まで行う件について、でございます。先ほどお話ししたとおり、直営の3館については、現時点で開館延長を実施していない土曜日と、学校長期休業期間中について、児童館運営検討委員会など内部での検討を重ねて、30年度内の試行を予定しております。広報などの準備期間や、日が長い期間、短い期間の比較検証なども考慮し、5月のゴールデンウィーク明けの土曜日からの試行を目標に取り組む予定でございます。</p> <p>他の事業計画(案)も同様でございますが、本日の委員の皆様のご意見も参考に、修正を加えて、今年度の3月までに事業計画を完成させることとなりますので、本日の会議においては、特定の館の事業内容に限らず、来年度の小金井市の児童館事業、四館全体についての内容も含めてご議論、ご意見を頂戴できればと考えてございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>引き続き、各館について順番に説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> |

| | |
|---------|---|
| 事務局（大嶋） | <p>本町児童館、大嶋です。30年度本町児童館事業計画を説明させていただきます。</p> <p>学童保育所の子どもが増えてきた関係で、29年9月から2階の西側の部屋を児童館集会室と学童保育所育成室の併用スペースとして区切った使い方をしてきました。2階の部屋は、小学生以上の子どもが終日使えなくなった関係で、いろいろ工夫して取り組んできまして、30年度もその点を引き続きポイントでやっていきたいと思っています。</p> <p>まず、1の(2)のところで「乳幼児優先室」というのがありまして、学童と共通の部屋でやっておりますが、午前9時から午後2時までの使用となりますので、その時間をPRと使いやすい形を工夫していきたいと思っています。</p> <p>1の(7)のところで、幼稚園児世代対象の事業ということで、保護者だけでなく、OBである保護者のボランティアの参加を加えて事業ができてきましたので、これも膨らませていきたいと思っています。</p> <p>2の小学生に対する事業の(4)のところで、「じどうかんフェスティバル」を取り組むに当たり、ダンスチーム、ブースチームを育成し」とあります。ダンスチームは、児童館でダンススクールを9、10、11月とやっていますが2階が使えない関係で練習場所が足りなくなってきましたので、上之原会館のスペースを借りて、水曜日に練習場所を増やすなど、工夫をしてきており、これを続けてやっていきたいと思ひます。子ども会議は、ライブ活動も含めて高学年を中心にやっていきたいと思っています。</p> <p>(6)のところで、「遊戯室を有効に活用し」とありますけれども、工事でネットをつけたり、20分交代制にして、子どもたちもスケジュールを組んで遊んでいるので、引き続き、けがやトラブルがないように、有効利用していきたいと思っています。</p> <p>ここには書いていないのですが、ランチ会タイムと各種ゲーム大会を事業予定一覧の表の2ページ目の中段の下のほうに入れていまして、異学年、異年令の子どもたちで交流できるようなスペースということでやってまいりたいと思っています。29年度中も参加が多かったなので、引き続きやっています。</p> <p>3の中・高校生に対しての事業の施策ですけれども、(5)のところの「じどうかんフェスティバル」やライブ活動に多くの参加を募り、ということで、じどうかんフェスティバルに参加する中・高校生のダンスチームも結成して、日々練習していまして、7月の夏期クラブの夜の行事や、ほかの児童館のライブにも参加したり、引き続き上之原会館も借りて練習し、活動に力を入れていきたいと思っています。また、ボランティアの参加も増えてきましたので、これは大事にしていきたいと思ひます。</p> <p>4の相談事業及び子どもの問題に対しての地域や関係機関との連携ということで、(2)のところ、ソーシャルワークを行っていきますということで入れさせていただきました。</p> <p>(5)のところに、スクールソーシャルワーカーと連携をとって、ということで今やっていますけれども、学校と子どもや保護者の間に入って地域の関係機関と連携し、問題解決に向けて支援する専門家のワーカーですが、児童館</p> |
|---------|---|

| | |
|---------------|--|
| | <p>でもなかなか手が入ることができなかった子ども同士のトラブルや、両親が出てきた形でのトラブル、思春期におけるトラブルが増えてきましたので、課長の了解をとって、スクールソーシャルワーカーと連携をとって対応のアドバイスを受けながら、相談事業を進めることができるようになってきましたので、引き続き子どもの健全育成に力を入れていきたいと思っております。職員研修もソーシャルワーク実践を毎年1回は入れていますので、充実していきたいと思っております。以上です。</p> |
| 倉持会長 | はい、ありがとうございます。では東児童館。 |
| 事務局（高野マネージャー） | <p>東児童館、高野です。東児童館は、平成29年度の内容を充実させることに加えて、新規事業が3つあります。</p> <p>まず1つ目、計画の2の(6)にあります地域の大学やNPO法人との連携事業を実施しますということで、予定一覧の1ページ目、下から5個目です。「みんなで積もう！30000個の積み木」というイベントがこちらに当たります。こちらは、地域の大学やNPOと連携しまして、3万個の積み木を使って遊ぶというイベントを考えています。</p> <p>この積み木というのが、相模原市の森の間伐材を再利用したものを使っていますので、環境等でもつながると思いますし、積み木という単純な遊びですが、幼児さんから小学生まで楽しめるものになるのではないかと思います。実際にこがねい宮地楽器ホールでも一度その積み木を使ったイベントがなされていて、積み木を使ってアンコールワットを作ったりだとか、ただ積んで崩して、でも楽しいと思いますので、当日は中・高校生世代がボランティアとして参加していく形で、全世代がかかわっていくイベントになればと考えています。</p> <p>2つ目が、3の(3)になります。中・高校生世代が自分たちで企画、実施する宿泊行事を行います。今まで「とびだせ！中高生」という中・高校生世代が、自分たちが主役のイベントとして、遠足に出かけてみたり、スポーツ大会をやってみたり、そういうイベントをやってきたんですけども、今度は泊まってみようというイベントになります。中・高校生はとても忙しいので、毎週水曜日に、6時から8時は夜間開館をしておりますが、その時間だけではとても足りないみたいで、8時になっても帰りたがらない子がとても多いので、一度ゆっくりと話せる機会として、泊まりのイベントを企画してみてもどうかと考えています。内容も全て中・高校生が考えていくという形で、例えば食事班とかお楽しみ班のように分かれて各自が当日まで準備を進めていき、企画からかかわる形で進めていければと考えています。</p> <p>3つ目が、4の(9)になります。30年度で東児童館設立50周年になります。毎年3月に「子ども縁日」を行っているんですが、この子ども縁日の場を、50周年記念イベントということで、児童館にかかわってきた全ての地域の皆さんや利用者の皆さん、みんなで盛り上げていこうと企画しています。</p> <p>既に今年度の東児童館運営会議で意見をいろいろいただいて、50周年、どういうことをしたら楽しいか、というふうに意見をいただいて、前庭の外側の歩道に桜の老木があって、今年度伐採していただいたのですが、切り株の一部</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>の木材をいただいたので、それを使って何かつくるのがいいのではないかという意見が出ていまして、看板にしてみたらどうかとか、青少年健全育成東部地区委員会の懇親会では、お箸をつくってみたらどうかとか、様々なご意見をいただいているので、みんなで練っていきながら、桜を何か有効活用できないかなと考えています。50周年記念イベントに向けて、予定一覧の2ページ目の下から6番目です。50周年基本イベント子ども会議というのを立ち上げまして、子どもたちの意見を集約していきながら、50周年のイベントを進めていきます。大人の意見も運営会議のほうで吸い上げていきながら、子どもから大人まで、みんなの意見で50周年を迎える準備をしたいと思います。</p> <p>玄関のところにあった掲示板もちょっと有効活用しようかな、と思っていて、あそこで50周年みんな何したいという意見も拾えたらなというふうに、まずきっかけとして、そういうところも使っていただけたらなと考えています。</p> <p>以上です。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございました。では、貫井南児童館。</p> |
| 事務局（山田） | <p>貫井南児童館の山田です。まず、1点、間違いがあったので、訂正をお願いしたいのですが、貫井南児童館平成30年度事業予定一覧のところで、ダブって同じ内容を掲載してしまいました。申しわけありません。「幼」と書いてある9行目、幼稚園世代対象水遊び（仮称）というのがありますが、これは上から3行目の事業とダブってしまっています。すみません、それを消していただければ、と思います。よろしく願いいたします。</p> <p>貫井南児童館、平成30年度については、大きな変更点はございませんので、現状の児童館の様子など含めながら、細かい修正の点を述べさせていただきたいと思います。</p> <p>1番、乳幼児と保護者に対する事業です。現在、月、水、金が自由に遊べるフリースペース、火曜日、木曜日が2歳児以上の幼児グループで、限定のグループ活動を行っており、平日の午前中はそんな形で行っています。</p> <p>乳幼児のつどいは、月、水、金のフリーの事業ですが、それぞれ10組程度の利用があります。貫井南児童館という場所柄、あまり大きなマンションとか新興住宅地はないので、子どもの数がもともとそんなに多くはないんですけれども、やはり利用人数は若干減少していまして、原因としては、保育園に入所される親子さんが多いとか、2歳になるとプレ幼稚園と言いまして、週に1回とか2回とか幼稚園のような活動に参加される方もいることが原因として挙げられていると思います。そういった形で、それで減少しているということです。幼児グループは2歳児さんがほとんどで、両方合わせて大体35組ぐらいです。15組と20組というところです。</p> <p>また、今年度は夏休みにお父さんと遊ぼうということで水遊びの機会を設けていたんですが、ちょっと人数が芳しくなかったもので、来年度は父親の子育て参加を積極的に支援するために土曜日の午前中、年3回ではありますが、試験的に父親と乳幼児の子ども対象の支援の行事を行う予定です。</p> <p>1の(6)、3歳から5歳、主に幼稚園の世代対象の活動ですが、今年度も去年の火曜日と木曜日のグループの有志の母親の方たちが中心となって活動</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>を進めていただきました。来年度も今年の幼児グループに参加されていた保護者の方たちの協力で行っていく予定です。</p> <p>2番、小学生に対する事業です。小学生に対する事業も、ほとんど変わりがないので、現状を述べさせていただきます。今、貫井南児童館だけ学童保育所併設ではなく公民館と併設になっています。低学年よりも高学年、4年生以上の利用が多いので、ここ最近の傾向として、4年生以上が固まって遊びに来るんですが、一人一人が職員と遊ぼう、遊ぼうという形で来る子が多いです。職員とボードゲームしようとか、卓球しようとかいう形で、大人と遊びたい子が増えているな、というのはちょっと実感としてあります。低学年の子どもは、主に児童館の行事に参加してくる子が多くて、自由に遊びに来る子はあまりいません。大きな変化はないですけども、子どもたちの声を拾って、子どもの権利に関する条例もありますけれども、実現していけるように、日々子どもたちと向き合っていきたいとは思っています。</p> <p>3番、中・高校生世代です。今年度6月から、貫井南児童館でも、毎週金曜日夜8時まで夜間開館を行っています。それにつきましては、来年度も4月から、毎週金曜日、夜間開館を8時まで行っていく予定です。</p> <p>現在利用している子どもたちの層は、中学校の1年生の男子が多く、9割方、中学1年生の男子です。夜間開館は別に誰が来てもいいんですけども、どうしても同じ特定の子たちに限られてしまって、特に女子の利用が少ないので、その辺は、ちょっと職員は懸念しています。</p> <p>来年度は児童館としてもう少し、女子もそうですし、高校生もそうですけれども、多様な子どもたちの利用を図っていきたいということで、行事も工夫していきたいと思っています。女子が来やすい行事ということで、よく遊びに来る中学校1年生の女の子と話しているんですけども、声優体験ですとか、今年度も3月にアニメのイラストの教室を工学院専門学校の先生にお願いしてやるんですけども、そういった形で、もう少し来館する子の幅を増やしていきたいと思っています。</p> <p>4番の相談は、個々のケースなんですけど、今年度も子ども家庭支援センターなどと連携を行ってきたので、必要に応じて今後連携していくということで、変わりません。以上です。</p> |
| 倉持会長 | ありがとうございました。 |
| 事務局（森） | <p>最後になりましたが、緑児童館の事業計画です。</p> <p>1番。現在、事業計画案を策定した段階ですが、ここ最近、ちょっと状況が変わってきたところがありまして、内容を変えざるを得ないのではないかと考えているところが1カ所あります。1番の（1）の①活動室のフリースペース化です。活動室を、土曜日、学校休業日以外の午前10時から午後3時まで子育てひろばのための専用の部屋にする、と計画にありますが、最近、土曜日に父親の利用が増えてきました。土曜日の午前中に関しては、本来は中学生以上の子どもたちの専用室ですが、今年度、月1回「パパとおいでよ」という名前でひろば事業を行っているんですが、ひろばを実施していない土曜日にも父親が遊びに来られたりして、こちらが対応にちょっと苦慮するということがあ</p> |

るようになりました。土曜日の午前中に関しては、ほかにも部屋がありますので、普段、子育てひろばをやっている活動室で土曜日の午前中も子育てひろば事業を行うべきじゃないかという意見が職員の中にあります。ただ、既に来年度の予算編成も終わっており、見守りの臨時職員を追加で配置することはできませんので、あくまでフリースペースとして自由に使ってもらおうということになります。遊びに来た人たちをそのまま帰さないような配慮というイメージで、土曜日の午前中に関しては、基本的には子育てひろばを実施する、のように案の記述の修正が必要かなと考えております。

また、緑児童館は今年度が設立30周年です。ずっと保護者を中心とした地域の大人の人たちの協力と連携によって全ての事業を行ってきました。最近はお母さんたちも忙しいですし、平日にいらっしゃらない方も多いので、なかなかその辺りが難しいんですけども、今もその形で事業を行っているのが特長です。この形は重要なことだと考えておりますので、今後も多くの人たちの協力を得ながら、充実した活動を行っていこうと考えております。

児童館の事業は、大きく分けて2つあり、職員が提供する行事と、自由来館の子どもたちの人数にあわせてどう対応していくか、という内容になります。後者に関して、今年度の傾向としては、小学校4年生以上の子どもたちが非常に増えています。また、これは緑児童館の特徴なのか、ゲームとかカードなど、部屋に座り込んでやるような遊びが極端に減り、ボール、卓球、鬼ごっことか、児童館中を走り回る子どもたちが非常に増えています。けが等もちょっと増えてはいる部分があるので、職員がそれについては対応していかなければなりません。

それから、子どもたちが自由に自分たちのやりたいことをやる、ということについては、今、小学6年生の女の子たちが毎日ダンスをやっています。今年度のじどうかんフェスティバルにも出演したんですけども、それが終わってからも児童館に来て、自分たちでラジカセ鳴らして踊っています。最近は遊戯室で踊っているので、同じ場所でほかの子どもたちも遊ぶという、何かちょっと今までにない状況です。それにプラスして中学生もよく最近来ています。恐らく、今、中学生の利用が一番多いのは緑児童館じゃないかと思うのですが、この子たちのことも考えれば、夜間開館については、今後、考えていかなければならないのかなと考えております。

どの時代もいつも同じ状況ではないですけども、今の緑児童館及び緑児童館の周囲の地域の関係からすれば、毎日遊びに来る子どもたちへの対応というのが、こちらが提供する行事とかということとほぼ同等に、あるいはそれ以上に重要であると考えております。

最後に、貫井南児童館でもありましたが、4番の相談事業及び子どもの問題に対して、というところの連携について、です。(5)番の中に網羅されておりますが、子ども家庭支援センターと連携を取り合っている事案が今現在も数件あります。個人情報関係がありますので詳しくはお話できないのですが、引き続き子どもたちのために、子どもたちの利益になるような形で連携をしていきたいと思っております。簡単ではありますが、緑児童館の報告を終わらせ

| | |
|--------|--|
| | ていただきます。よろしく申し上げます。 |
| 倉持会長 | それでは、四館合同、四館それぞれの事業計画案、いかがでしょうか。これは委員の皆さんからのご意見をいただいた上で、その内容によっては案の修正がされることもあるかもしれませんが、ぜひ忌憚のないご意見をいただければと思います。事前送付されていますが、説明の内容も多かったのもお気づきになった点で絞っていただいて、全体を網羅しなくて構いませんので、順次、ご意見、ご質問をお願いします。それではいかがでしょうか。山田さん。 |
| 山田委員 | 山田です。先日、貫井南の利用者懇談会でも出ていた意見で、私も思ったのですが、小金井児童館四館合同事業のじどうかんフェスティバルについて、毎回、小金井第三小学校で、貫井南からはちょっと行きづらいので、エリアで持ち回りか、こがねい宮地楽器ホールは行きやすく楽しかったのもうちょっと近場でもやってくれるとうれしいなと思います。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。これはご意見ということで伺っておけばよろしいですか。 |
| 事務局（森） | すみません、それについて。 |
| 倉持会長 | はい。 |
| 事務局（森） | それについては、私たちもいつも念頭に置くというか、考えながらやっていますが、これだけの事業を行うスペースと、大きな予算をかけずに借りられる施設ということで考えた場合、小学校の体育館というのが一番現実的になります。ただ、やはりその学校の校長先生の考え方がありますし、市内全域から集まりやすい学校となるとどうしても坂の上になってしまうので、候補が狭まってしまいます。小金井第三小学校の体育館で毎回行っておりますが、ほかにも第一小学校や本町小学校の体育館は検討されてきています。 こがねい宮地楽器ホールに関しては、行政が使用する場合においても料金を支払わないといけなないので、それは前年度から予算要求をしなければならないということもありまして、再来年度に向けてはそれも考えております。ただ、来年度については、また第三小学校で行うことが現実視されているので、特に第四小学校、前原小学校の子どもたちには申しわけないなと思っています。 |
| 倉持会長 | 正直、来年度に反映するというのは難しいと思いますが、長い目で見て、いい中身であったら多くの子どもや保護者が来られますので、状況を整えるというのも大事なことだと思います。引き続きご努力いただければと思います。ありがとうございます。ほかはいかがでしょう。中川さん。 |
| 中川委員 | 中川です。今のお話で、昨年度、こがねい宮地楽器ホールでの開催のときに見学に行って、やっぱりホールだとスペースがある程度決まっているな、と思いました。今年度、三小に見に行ったときには、スペースの大きさも広くて、ブースを受け持っている子どもたちもすごく楽しそうでした。スペースに余裕があるので、いろんなアイデアを持ち寄って出せていたので。逆にホールでやる時は、ターゲットを乳幼児に絞ってやってもいいのかなど。小学校は小学生とか中学生、高校生も入って大きくできるので、小学生とか中学生の参加者を増やすみたいな感じのイベントにしてもいいのかなというのが1つ。 同じように三小だけではなくて、ほかの学校を使っただけだとよいと思 |

| | |
|---------|--|
| | <p>います。今回、自分の子どももそうなんですけれど、三小でじどうかんフェスティバルをやるから見においでよ、友達も誘って、児童館にもよく行くので見においでよ、と言ったんですけど、今の子どもたちは、行動範囲が狭いのか、自転車を使えるのに三小まで行くのが嫌、すごく遠いから無理、とかって言うんですね。行き方も教えるんですけど、それでも、いや、ちょっと遠いよな、無理だよな、とかと言って行かなかったりします。ただ、内容はすごい楽しくて、いろいろ工夫もされているので。だから子どもたちがいろんな学校から来やすい場所という観点でも、もう少し会場を移動してもらえると色々な子どもたちがもっと増えるのかなと感じました。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございます。こういうのが、またさらに利用者をつなげるきっかけにはなる可能性があるんで、確かにね。会場の学校の子どもたちからしてみれば、ホーム感覚みたいのがあるでしょうけど、そういう貴重な体験も、いろいろな子どもたちが出会えるというのは、またいいことかもしれませんね。ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。</p> |
| 吉田委員 | <p>四館合同事業計画案のところですけど、私もこの間のじどうかんフェスティバルに伺いました。先ほどの中川さんの意見と一緒に、何もない体育館が、いろいろと各児童館の色がすごく出ていて、非常に見やすいなというふうにやっぱり思いました。その前のときも行っているんですけども。</p> <p>それと、四館でそれぞれどんな活動をしているかというのが一気に見られるのと、今までの児童館の歴史も会場の一角でDVDを流したりしていて、野外体験とか、さっきの2の(2)のあたりの地域の環境保全という部分でも、その内容をとてもよく見られて、非常にいいブースだなというふうに思いました。今、子どもの安全な居場所として、児童館であり、公民館であり、もちろん学校も含め、いろいろあると思うんですけども、行政主体でやってくださっているところがたくさんある中で、やっぱり児童館には、児童館ならではの行事というのがあって、それは他のどこにもできないものだという意味が今回はとてもよくわかりました。保護者にはできない、学校でも制約がある、だけど児童館ならやってくれる、という内容だなというのをすごく思ったので、ぜひ、わんぱく団、移動児童館も含め、児童館の活動を引き続き行っていただきたいなど、とても思いました。</p> <p>それと、別件ですが、本町と東の事業計画案にだけソーシャルワーカーという言葉がなぜ出ているのかな、と、ちょっと思いました。これは近隣の学校のスクールソーシャルワーカーではなくて、いわゆる一般のソーシャルワーカーの方との連携ということですか。そこをちょっと伺えたらと思います。</p> |
| 事務局（大嶋） | <p>いいでしょうか。</p> |
| 倉持会長 | <p>はい、どうぞ。</p> |
| 事務局（大嶋） | <p>教育委員会のスクールソーシャルワーカーです。小金井市は教育委員会に所属していて、学校からの派遣依頼を受けて活動されています。学校のスクールカウンセラーもそうですけれども、教育委員会に連絡をとって連携がとれたり、学童保育所にもワーカーが見ているお子さんがいるので、ときどき学童にワーカーがいらっしゃるときに児童館も立ち寄ってくれたりとか、そういった</p> |

| | |
|---------------|--|
| | 時にアドバイスを受けるなど連携がとれています。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。学校やエリアは決まっているんですね。 |
| 事務局（大嶋） | そうです。ただ、詳しいことは存じていません。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。学校との連携というのは、例えば学校の運営連絡会ですか、そういうものに説明をしているということですか。 |
| 事務局（大嶋） | 私も委員の委嘱を受けているので参加させていただいて、会議は出させていただいています。年3回やります。本町小学校になります。児童館での様子など説明をしています。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。 |
| 事務局（森） | すみません、補足というか、スクールソーシャルワーカーとの連携について、よろしいでしょうか。児童館でそういった事案はあります。ただ、児童館の原則としては、基本的には保護者との対応、それから、保護者の求めに対して、きちんと対応するという事です。児童館が保護者や学校を超えて、独自の判断で直接スクールソーシャルワーカーと連絡を取り合うという事はあり得ません。基本的には必要に応じて、本町児童館についても、東児童館についても、学校やスクールソーシャルワーカーからの情報提供、あるいは連携依頼から始まっています。基本的に要保護児童対策地域協議会のルールがありますので、それに従った連携になっております。 |
| 倉持会長 | あともう一つのさっきの質問、学校運営連絡会。各児童館とも委員になっているか、という意味ですが。 |
| 事務局（森） | これについては、学校の会なので、学校のほうからの求めに応じて委員になっております。現在は、緑児童館が緑小学校、貫井南児童館が前原小学校、本町児童館が本町小学校の委員をやっております。ただ、これは、こちらがやらせてほしいという話とは筋が違うので、基本的には学校から委員をやらせてもらえないかという依頼があり、児童館がそれに対して応えたということになります。 |
| 吉田委員 | 市内は9校小学校があるので、平等に網羅できればいいなというのが理想とは思いました。 それと、中・高校生世代の宿泊というのが東児童館で出ていましたけれど、貫井南児童館もやっていたと思うのですが、今年度もあるのでしょうか。 |
| 事務局（山田） | 貫井南児童館の山田です。貫井南児童館でも、例年、宿泊行事を年1回行っております。新規の事業じゃないので、特に説明はいたしませんでした。 |
| 倉持会長 | はい、ありがとうございました。 |
| 関委員 | 宿泊行事についてなんですけれども、先ほどの説明を聞きますと、話し足りないから宿泊をしたいというのを伺ったんですけれども、やはりこの世代だと何かテーマを決めて宿泊しないと意味がない。親としては心配です。子供会でも小学生を扱うための準備のために宿泊、というのがあるんですけれども、そういったテーマがあったほうがいいのではないのでしょうか。 |
| 倉持会長 | 狙いを目的にして、どうでしょうか。 |
| 事務局（高野マネージャー） | テーマは、中・高生の中から引き出していこうと考えていますので、何も目的を持たずに行くという宿泊とは最初から考えていません。中・高生の話し合 |

| | |
|--------|---|
| | いを進めていく中で、どういう目的で泊まるか、何かをみんなでイベントとしてその中でやるのかということも、中・高生から意見を吸い上げながら進めていきたいと考えています。 |
| 倉持会長 | ほかに何か。吉田さん。 |
| 吉田委員 | 1点は避難訓練について。避難訓練はどこもやっていただいているんですけど、例えばそれは大体何時ごろ避難訓練をされていますか。というのは、今回も2階に幼児連れがいらっしゃって、その方々も含めた避難訓練なのか、もう完全に職員の方だけの避難訓練とかになっているのか。ここはどうしても2階があるので、2階がある場合の、幼児を抱っこしておりていくというような避難訓練になるとは思うんですけど、通常はどういうふうになっていますか。 |
| 倉持会長 | どんな形でやっているかということですね。これはどうですか。 |
| 事務局（森） | では、全体をまとめてご説明をいたします。避難訓練に関しては、施設の中で、ということなので、基本的にどの館も複合施設になっておりますので、本町、東、緑については学童保育と連携を取り、貫井南児童館に関しては公民館と連携を取りながらやっております。基本的には学期に1回で、最も多いのは、子どもたちを中心に一番利用者の多い時間帯、午後3時半前後です。ただ、今、ご指摘があったように、子育てひろば、幼児グループなどの、乳幼児及び保護者の方々の多い時間帯にも当然何かあるということは想定されますので、各児童館でそれについては個々に行っています。 それと、貫井南児童館は公民館が地域の自治会と連携をして大きな防災訓練を年に1回行っているの、それに参加しているというのが特徴です。 |
| 倉持会長 | ありがとうございました。はい、どうぞ。 |
| 吉田委員 | 最初の合同事業計画のところ、先ほど冒頭でお話がありました、2番の（1）のところですか、5時半までの開館延長ですけども、結局、通年で試行をされるということですよ。これはどういうところから通年にしたのかなということ、あとは、例えば利用者の声を何かアンケートとかで拾った結果とかなのか、本当に5時半までがいいのかというのは、何か結果があってこのようにされるんですか。 |
| 事務局（森） | よろしいでしょうか。 |
| 倉持会長 | はい、どうぞ。 |
| 事務局（森） | 基本的には2つの考え方がありますが、1つは現在の状況です。現在の児童館の開館時間については、条例では全て全児童館が9時から5時になっております。ですが、試行というのは、基本的には試してやって、それで状況を見るというところで、東児童館を委託した前後で児童館の開館時間についての検討が職員の中でありまして、5時では小学生の放課後の時間帯に対応していないということで、一部5時半に延長しました。その後で東児童館委託の際に6時というのが決まったんですけども、基本的には、それについては市民の意見、当時の児童館運営審議会の委員さんの答申に基づいています。その中で、委託事業については午後6時まで通年でやっていく、ということでスタートしました。ただ、基本的に直営館については、職員の勤務体制などいろいろありますので、今のところ5時半までということになっているんですけど、それも一応土 |

| | |
|-----------|--|
| | <p>曜日とか学校の長期休業期間については行わないで、あくまで子どもたちが児童館に来館するのが遅くなってきたことに対する対応ということになっています。</p> <p>全体的な見直しというのは今後必要になりまして、行革の中で2020年に向けての児童館の事業の大きな見直しもありますので、まず基本的には直営館、それから委託館のサービスというのが、余り隔たりのないような形にするためには、少しずつ見直していかなければならないと考えています。平成30年度については、基本的には5時半というところの線で、それを通年行うというのを一つの試行の一步前進した形で今回は打ち出しました。</p> <p>児童館の開館時間については、今質問でありましたけれども、多くの方たちの意見をもとに、本当にこれが地域の子どもたちにとって正しいのか、妥当なのかということを考えていただきたいなというふうに考えております。今回の直営館の見直しは、今後の見直しを想定した試行になります。</p> |
| 吉田委員 | <p>学校も今、学校のアンケートとか、保護者に対するアンケートとか、高校のPTAのアンケートもメールで来てメールでやるみたいなの、もうそんな時代になっちゃったんだなと思うと、ここだけではなくて、やっぱり利用者の声というのを何か拾って、本当にこの5時半、6時とかというのは実はとても大きいことではないかと思えます。今おっしゃっていただいたように、小金井市の市民としては、やっぱり同じ時間というのが一番理想だとは思っているので、その辺は一步踏み込んで、実質のところはどうなのか、利用者としてはどうなのかというのがわかればいいなというふうにちょっと思えます。</p> |
| 倉持会長 | <p>そうですね。学校教育のほうも今大きく変化していますし、保護者の生活によって子どもたちの環境も変わってきていますから、少し見直していくことが増えていくんじゃないかと思えますけど、声を直接聞くとか、試行をして、結果どうなのかということを検証していくというのはすごく大事なことです。今回これをやってみてどうだったかということ、また次年度検討していく必要があるだろうなと思えます。ありがとうございました。</p> |
| 中川委員 | すみません、中川です。 |
| 倉持会長 | はい、中川さん。 |
| 中川委員 | <p>今の1番のところ、子どもたちの声だとか親の声を聞くほうの受け皿としての職員の数というところで、前回、委託館と直営館の比較のところ、本町の児童館の職員の数が少なくて、時間を延長するならば、やっぱり受け皿となる職員の方もそろっていなければ厳しいと思うんです。なので、この5時半にするには、ちゃんと職員の数をしっかりとつけてほしいというのが要望になります。</p> |
| 倉持会長 | それこそ、開館時間を延長する職員体制というのは、現状で、ということなんでしょうか。 |
| 伏見児童青少年課長 | <p>職員の体制についてですが、直営ですので基本的には8時半から5時というのが勤務時間になります。そういった時間をずらしながら対応していくというような形になるのかなど。その勤務時間を、例えば大ざっぱな話、9時から6時とかいうような形で、ずらしながらの勤務になるかな、と考えてございます。</p> |

| | |
|------|---|
| | その辺は、労使関係も含めた話になってきますので、今後、職員との協議の中で、検討していく話になるかなと考えています。ただ、現実的に今回こういう形での試行事業を行っていくというような案が出ておりますので、今後の協議の中で、職員の勤務体系については検討していくということになります。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。これがまた6時とかってなると、同じ時間数しかない中で、開館時間だけを増やすとなると、どういうふうにそのあたり人手を手当てしていくかということも、新たな課題として出てくる可能性は一応ありますね。ありがとうございます。ほかには、この辺でも違う意見はいかがですか。 |
| 山田委員 | 山田です。開館時間の件で、今、小学生が、どんどん6時間授業が多くなって、グループ活動に入りたいんだけど、帰りが遅くなるから、この曜日は間に合わない、とかいう話をこの間、聞いたのですが、でも、閉館時間が遅くなると、スタートが遅くできるので、学校を終わって、家に帰って荷物を置いてから児童館へ来ても間に合うというか、今までと同じに長い時間、事業ができるのかなとは思いますが。私が話を聞いたのは貫井南だったので、ほかの児童館さんも、ちょっと短か過ぎるという声とかはどうなのかなと。家に着くのが4時なので、そこから児童館だと、そして5時だと1時間もないぐらいなので、皆さん、どうしているのかなと私も思います。 |
| 倉持会長 | そうですね。学習指導要領も変わるので、学校にいる時間が長くなってから、児童館のほうもそれに応じて対応しなくちゃいけないことで、ますます変わるんでしょうね。はい、どうぞ。 |
| 岩重委員 | 岩重です。今の開館時間ですけど、例えば学童とかであれば、11月、12月、1月は集団で帰る時間が4時半になって、ちょっと早まってできるので、同じように夏時間、冬時間みたいな感じで、明るい間は6時まで開館してもらえると、子どもたちがたくさん遊べるとか居場所になるんだけど、5時ぐらいに真っ暗になる季節に、6時までというはどうなのかと。うちも、子どもも帰りたがらないんですけど、余りにも暗いから5時半に帰ってきなさいというようなお達しを出すんですけど、そういうちょっと心配だなという時間にもなってくるので、冬は5時半とか、夏は6時とか、そういうちょっと安全面を考慮して開館時間を考えていただければな、と思います。 |
| 倉持会長 | 前回の会議だと、延ばしたほうがいいのか、延ばさないほうがよかったとか、両方意見があるということが見えましたけども、これはいろいろ工夫と議論が必要であるということです。ありがとうございます。 清水さん、何かないでしょうか。 |
| 清水委員 | 各館とも事業予定で本当にさまざまな工夫がなされていて、児童館ごとに、その地区でできる、例えば焼いもをやったり、そういったことも工夫がされていて、きょうもこちらの大きな掲示物を拝見させていただいて、日ごろの活動とか事業を大事に実施しているかというのがすごくよくわかる感じでした。いろんな意見とかがあって、例えば乳幼児だったらベビーマッサージの講座を説明したりとかということとされていると思います。やっぱりイベントがあると、児童館に行ってみようかなというような、乳幼児もそうですし、小学生もそうですし、そういうことがあると思いますので、本当に児童館の先生方は大 |

| | |
|--------|--|
| | <p>変だろーとは思いますが、イベントというか、そういうものもできるだけ充実していただければいいかなと思います。また、それをきっかけに児童館に日常的に来るような子どもたちも出てくるかと思いますので、ぜひお願いしたいところです。</p> <p>質問としては、東児童館では大学とかNPO法人と連携をとってというのがありましたし、専門学校を講師に呼んでというようなことがありましたけれども、そういったことは、直営、民間委託に関係なく、各児童館ごとの工夫でなされているのでしょうか。民間委託で、NPO法人だから自由にできるという部分があるのか、直営だから縛りがあるとか、特にそういうことはないのでしょうか。</p> <p>それと、職員のスキルアップのための研修会を2回実施、というのが四館合同の事業計画（案）で出ていましたけれども、具体的には、こういうものはどういうふうにするのか。民間委託の委託先は独自で、直営児童館は同じようにそういうことをやっているのか、どうでしょうか。以上です。</p> |
| 事務局（森） | よろしいでしょうか。 |
| 倉持会長 | はい、お願いします。 |
| 事務局（森） | <p>まず、質問の1点目ですが、事業の内容については同じです。直営も委託もないです。予算に多少の違いはありますが、委託に関する委託費の中身は、基本的には人件費です。職員の給与以外にも講師の派遣とかそういうことも全て入っておりますが、それは我々直営のほうも市全体の予算の中でありますので。ただ、どういうことをやりたいとか、どういう人を呼ぶかということに関しては、それは各児童館の職員の中で考えていることなので多少の差はあります。基本的にはそこは一緒です。委託だから好きなことができる、直営だからできないということは基本的にないです。</p> <p>それから2点目ですけれども、職員研修に関しては、まず内容ですが、それは直近、児童館で起きている問題への対応とか、あるいは子どもや子育てを取り巻く社会的な情勢についてなどがあります。例を挙げると、今ソーシャルワークという言葉が児童館の計画の中に幾つもありましたけれども、その辺についての専門家をお呼びして、社会福祉施設としての児童館というものを考え直す。それから、将来的な児童館をどういうふうに考えていくかというのを福祉の分野の中から考えるということで、大学の先生をお呼びしたりしています。</p> <p>それから、もっと細かいところでは、例えばアレルギーの対応について、医療に関する専門家の方をお呼びして聞くとか、あるいは保護者への対応です。今度の2月にも実施しますが、保護者への対応というものを細かくどう考えていくかということで、臨床心理士の先生をお呼びして話を聞く予定です。直営だけでなく、委託の職員も参加していますので、全ての職員が受けています。</p> <p>それ以外には、児童館の関係で、いわゆる都児連と呼んでいるんですけども、東京都の児童館の連絡協議会があり、そこでも研修を行っております。そういう研修があれば積極的に参加して、自分に足りない部分、あるいは自分が興味ある部分について、そこでいろんなことについて学んでいます。</p> <p>それ以外には、児童館の関係で、いわゆる都児連と呼んでいるんですけど</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>も、東京都の児童館の連絡協議会があるんですけども、そこでも研修を行っております。そういう研修があれば積極的に参加して、自分に足りない部分、あるいは自分が興味ある部分について、そこでいろんなことについて学んでいます。</p> <p>東児童館でも、委託の仕様の中にNPO独自で研修会を行っていくというのがあります。詳細については、直接、委託先の職員のほうからご説明したいと思います。</p> |
| 事務局（高野） | <p>独自には、常設の子育てひろばがありますので、それ関係の研修を、職員だけではなくて臨時職員さんも含めて一緒にやったりしています。また、先ほどの都の研修に参加させていただいたりとか、ほかの区の中・高校生室に見学に行ってみたりだとか、個人の担当でそれぞれ研修に行かせていただいています。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございました。その他いかがでしょうか。</p> |
| 中川委員 | <p>中川です。今の問題で、ソーシャルワーカーさんとも相談を行っているというのがあったんですけど、本町では子ども同士、または子ども同士のいざこざは親同士にも発展してというところで相談、というような話を言われたんですけど、ほかの児童館でもそういうことが増えているのでしょうか。</p> |
| 倉持会長 | <p>どうですか。子ども間のトラブルがさらに保護者間の対応の難しさみたいなことに関して、外部との連携みたいなことで、そういうふうにも対応しているかみたいなことですね。いかがでしょうか。本町以外で。</p> |
| 事務局（森） | <p>すみません、緑児童館の森ですが、長い歴史がありますので、そういうことも過去にはありました。子ども同士のけんかに関して、どっちがいいとか悪いとかというのが、職員の対応とは別の話で、保護者同士でもめるというのは確かにありました。</p> <p>緑児童館の例で言えば、それについて、ここ10年は見聞きしていません。子どもたちの喧嘩はありますし、どっちかが怪我をさせたしまったという場合には、それについては、児童館のほうからお互いに連絡を取り合い、基本的には、児童館は中立な立場でいかなければならないので、最終的には双方で話し合いをしていただくことになります。どちらも穏やかに片づいているというか、それほど大きな問題にはなっていないと思っています。私は東児童館と貫井南児童館の事故についても報告を受けておりますが、基本的にそういった事例はないかと。児童館が保護者への対応で時間を要したことはあっても、保護者間で何かもめごとが起きて大変なことになったということについては、ないというふうにお答えいたします。</p> |
| 倉持会長 | <p>いろいろな子どもたちがいるので厳しい状況はあると思いますので、さっき言ったように、児童館はそういった子どもたちの状況を、場合によってサポートする施設につなげていくというのがあって、児童館がある意味では最初の窓口になる可能性もあるという意味では、今回、事業計画でさまざまな団体、組織と連携をとり、ネットワークが出来ているというのはすごく重要なことだなと今日、改めて認識しました。</p> <p>ほかになれば、そろそろ議題1を締めたいと思いますが、いかがでしょうか</p> |

| | |
|------|---|
| | か。よろしいでしょうか。吉田委員。 |
| 吉田委員 | <p>本町のところに、3の(2)で職場体験実習を積極的に受け入れますということを書いてあるんですけども、中学生の職場体験って、今とにかく職場を体験させてくれるところを探すのがとても大変だというふうにはよく先生方もおっしゃっていて、特に私は緑中の学区なんですけれど、緑中はとても生徒数が多いので、一学年全員を受け入れるのがとても大変だったことでしたので、このような感じで職場体験に中学生を入れていただくと、とてもありがたいなと思います。中学生が児童館にまた来れるようなきっかけになれば、と思います。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございました。こういった中学生、高校生の授業だったり、授業外だったり、社会の体験をするという意味では、児童館も既に重要な施設になっています。ほかはよろしいですか。それでは、議題1の平成30年度の小金井市児童館事業計画についての検討を終了としたいと思います。</p> <p>議題がもう一つありまして、これは前回とのつながりというのもあり、また今の議論の中でも出てきたとは思いますが、小金井市の児童館事業全体に対して、改めて少し総合的に、先ほど出てきた質問以外でも構いませんけれど、何かあればと思います。</p> <p>先ほどの、じどうかんフェスティバルの話とか、あと開館時間の話とか、今後のそれにかかわる人員の関係の話とかというのが特徴的な部分では出てきたので、どうかなとは思いますが、皆さんのほうで、もしこのあたりについて、ちょっと検討も必要なんじゃないかなというものがあれば、最後に少し伺って、きょうの会を締めたいと思います。いかがでしょうか。</p> |
| 山田委員 | <p>以前、別の会でお母さん方から、乳幼児へのお知らせをもっと出したほうが良いという件で、3、4カ月健診のその前の母子手帳の段階から、宣伝をしたほうが良いんじゃないかという意見が出ていました。</p> |
| 倉持会長 | <p>さっき清水さんのご意見でしたか、事業をきっかけに、イベントをきっかけに利用する人が増える、多いんじゃないかなという。だから、いい事業をやっているからこそ、広報みたいな部分で、子どもにもそうだし、保護者たちにもそうだと思うんですけど、最近、男性、お父さんたちの参加も増えているなんていう報告もありましたけれども、確かにその声が届くような方法であったり、周知のあり方みたいなものも、広い意味では今後の課題でしょうか。</p> <p>身近な施設で、無料で使える施設なので、さまざまな条件の人たちが使えるということですから、困っている人たちこそ使ってもらえるような情報提供が必要だということです。ありがとうございます。</p> |
| 山田委員 | <p>今、小金井で妊婦さんの事業も始まったみたいなので、それと一緒に広報してもいいと思います。</p> |
| 倉持会長 | <p>そうですね。親の相談体制とか、そういうためにもいいかもしれないです。ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。</p> |
| 緒方委員 | <p>もし可能であれば、地域の高齢者までの方とも交流ができるようなきっかけになる事業があれば、高齢者世代も増えてきますので、そういった企画も考えていただけるとありがたいかな。お年寄りの方って、気持ちがそんなにせかせ</p> |

| | |
|---------------|--|
| | <p>かしている方もいらっしゃらないので、意外とおじいちゃん、おばあちゃんと接するということが大事かなと思います。もしその辺が考えられれば、そうなればいいんじゃないかなと思います。よろしくをお願いします。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございます。今回もいろいろ地域との連携とかというものもたくさん出てきていますけれども、小金井はまだ子どもがたくさんいますが、しかし高齢化は進んでいるので、相互に生き生きと暮らしてもらうためには、交流自体を増やしたり、お互いが学んだり、勉強したりする機会があって、そこで児童館が絡んでもいいかなという感じですね。</p> <p>関さん、お願いします。</p> |
| 関委員 | <p>この前、本町児童館を見学させていただいて、ひまわり会の大きな絵本の読みきかせのボランティアを見たのですが、いい感じで読まれているんです。それを小学生が聞いていて、とてもいい雰囲気でしたので、高齢者との交流という面でもいい事業だと思いました。</p> <p>あと、児童館事業のあり方として、小・中学生を学校以外の行政機関が見られるというのは児童館だと思うんですね。ですから、ちょっと問題のある子を、教師とは違う立場の人が見て、先ほど倉持先生が言われましたように、ほかとの機関につなげていただけるというのが一つの大きな要素じゃないかなと思います。先ほど聞いていましたら、本町児童館も貫井南児童館も緑児童館もそういった要素があるように思えます。東児童館はどうでしょうか、そういった何かつなげられているというようなこと、新しい事業にどんどん取り組むというのも大事ですけども、動も大事ですけど、静の姿勢での取り組みというのはどうでしょうか。</p> |
| 倉持会長 | <p>多分、さっき言った学校との連携について、特に東児童館は委託事業なので、そういう行政の機関のネットワークみたいな部分はちゃんとできているのか、具体的な行事や事業じゃない部分で、ということでしょうか。どうですか。</p> |
| 事務局（高野マネージャー） | <p>もちろん、新規事業を展開するに当たり、基礎となるのは日々の居場所だと思っていますので、そちらは職員の共通の考え方として持っています。</p> <p>地域の連携ですが、民生委員さんの方とも、とても連携させていただいて、気になるお子さんの情報とかもいろいろ教えていただいたりだとか、あとは、こちらの子育てひろばをご紹介させていただいて通うようになった親子さんもいらっしゃいますし、学校とも連携を組ませていただいて、何か気になることがあったら、お便りを持っていく際に、副校長先生にちょっとお話しさせていただいたりとか、日々の細かい連携はとるようにしています。東小学校には特別支援学級もありますので、そちらのお子さんが遊びに来るときに、もしこちらで気をつけることがあったら教えてくださいというふうに担任の先生にも具体的に聞いたりもしています。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございます。</p> |
| 事務局（森） | <p>すみません、補足をよろしいでしょうか。</p> |
| 倉持会長 | <p>はい、どうぞ。</p> |
| 事務局（森） | <p>東児童館は指定管理ではなく業務委託という形をとっておりますので、基本的には、小金井市の児童館がやっている事業の基本は仕様で定めています。直</p> |

| | |
|--------------------|---|
| | <p>営児童館の良いと評価できる部分については当然踏襲していただきますし、選定についても単純なる金額だけの入札ではなく、プロポーザル方式で企画提案していただいています。初めにこちらがこういった事業を行ってほしいと定め、それを踏まえた上での企画提案をこちらが審査し受託が決まります。委託が継続されているということは、基本的にそれができているということです。</p> |
| 倉持会長 | <p>8月に公民館の運営審議会の人たちが集まる研修に出たんですけども、ここではやっぱり地域づくり、人づくりの核は子どもたちじゃないかというのが地域の人たちや職員の側から出されまして、その子どもたちを巻き込みながら地域の人たちとお互いが学べる、地域を元気にしていくという、そういうことができるんじゃないかとか、したいななんていう話が出ていましたけれども、何か、世代を超えて、あるいは子どもたちも地域の一員としてということで、つないでいければいいですね。児童館には可能性がたくさん秘められているなというのも思いましたので、今でも既にいろいろな連携活動をしていますけれども、より積極的にというか、今後さらに連携をつないでいく可能性というところなので、考えていけるといいなと思いました。今日、おもちゃの病院を見たことも刺激になっていますけれども、引き続きお願いしたいと思います。</p> <p>ほかには何かありますでしょうか。はい、中川さん、どうぞ。</p> |
| 中川委員 | <p>はい。児童館の子どもの居場所ということで言わせていただくと、やっぱりスペースというのも大事になってくると思うんです。ずっと私も言っているんですけど、本町児童館の2階の学童ですが、次の4月に入学される1年生が100人いるというので、さらに増えると思うんです。そうすると、やっぱり子どもたちのスペースを考えると、早く新しい場所をつくっていただきたいなと思います。</p> |
| 倉持会長 | <p>そうですね。</p> |
| 中川委員 | <p>はい。子どもに関して、狭いと怪我だとか、喧嘩だとか、思わぬことがやっぱり増えてくると思うので、そこは大事にしていきたいなと思います。早く何とか考えていただきたいと思います。人数は増えると思うので。今、お母さんたちも働いている方で多いので。</p> |
| 倉持会長 | <p>そうですね。子どもの数が増えると学童保育の利用児童数がますます増えるだろうということが予測できるので、確かにかなり喫緊の課題。大きな施設のことですので、簡単なことではないと思いますけれども、確かにそれはね。直接この間見て、まあ、そうかなというふうに感じる部分は大きいですね。ありがとうございます。</p> |
| 中川委員 | <p>すみません、それでお聞きしたいんですけど、武蔵小金井駅の西友が使っていたビル、ああいうスペースを借りるということはできないんですか。駅前だし、中を自由に使えばいいなんて話がお母さんたちの間であったので、そういう使い方というのとはできないんでしょうかと。</p> |
| 倉持会長 | <p>それは答えづらいのではないですか。</p> |
| 大澤子ども家庭部長兼児童青少年担当部 | <p>それは児童館として、ですか、それとも学童として。</p> |

| | |
|---------------------|---|
| 長 | |
| 中川委員 | 学童で使われるというのはどうなんでしょうと思ったんです。 |
| 大澤子ども家庭部長兼児童青少年担当部長 | <p>じゃあ、すみません、私から。まず、学童に関しては、学校の敷地内等にあるのが、まず基本的な考え方かなという形で国から通達が来ています。我々の場合、市内ではほんちょう学童と本町小が一番離れている位置になりますので、基本的には、そのぐらいの距離の中で確保していくという形にはなる。それと、どうしても本町小の場合は、道路付けの関係があって、なかなか校庭の中に作りづらいんです。逆に作ってしまうと、今度は学校の建物がいじれなくなる特徴的なところが本町小にはあります。そうすると、必然的に近辺で、ということになってしまいます。</p> <p>ただ、すみません、土地を買うにしても、皆さん方の税金で買わなければいけない。必要な広さの土地を買えば、そこだけで億というお金ですし、さらに上物をつくれれば、そこでも億というお金がかかります。児童館の場合だと国の補助金はほとんど付かないですし、学童の場合だと多少補助金はもらえますけれど、最終的には起債をして、将来使われる市民にもお支払いをしていただくという形が問題としてあります。</p> <p>それと、市全体として、全ての公共施設、学校も含めてですけれども、かなり老朽化してきていて、今後それをどうするか、というところになっています。基本的に、まず学校は小金井市の公共施設の6割以上を占めていますので、そこをまず見据えていかなければいけない。ただ、児童館・学童の現状として、かなりぎゅうぎゅうだというのは十分認識しています。ですから、あらゆるところを検討はさせていただいています。また、物件でもいいところがあれば、というところも視野に入れてはいるんですけど、ぴったり合うというのもなかなか難しい。</p> <p>そこも含めて、毎回同じような形の答弁になりますけれども、あとは優先順位をつけさせていただいた中で、環境を含めて整備させていただきたいというふうな形です。</p> <p>それと、西友の場合、あそこもいろいろ今後計画があるかと思っていますし、さらに建物自体もかなり老朽化してたりするとなると、どうしても建物の安全というところをまず我々としては考えなければいけないというところで、多少いろんなところでアンテナは高くさせていただいているという現状です。</p> |
| 中川委員 | はい、わかりました。 |
| 倉持会長 | <p>いろいろなところでいろいろ声を上げることは大事なことだと思いますので、機を捉えて、最低限のものでいいのか、質の高いものがいいのか、その辺はすごく難しいところだと思いますけど、費用等があるので。でも、声を出してもらってね。ありがとうございます。</p> <p>そろそろ終わりにしようと思いますが、最後にこれは言っておきたいということが……。はい、吉田さん。</p> |
| 岩重委員 | 広報面ですけれど、前にも言った、ホームページが東児童館はとてもわかりやすく、写真もたくさんあって、こんな行事をしているんだとか、すごく楽しいんです、見ていて。ほかの児童館は、子育てとか、情報として少ないなど |

| | |
|--------|---|
| | <p>思うので、同じような形でほかの館もできたら利用が増えるのではないかと いう感じがするので、できればちょっと工夫をしていただければなと思います。</p> |
| 倉持会長 | <p>時代に応じた情報提供や発信のあり方はますます重要になってくると思 いますが、その辺、ちょっと長い目を見た課題となる。長い目を見たというのは、 そんな10年とかいうレベルではなく、もうちょっとした今後の課題というこ とで、よいでしょうか。ありがとうございます。特に、今若い世代が主に使う スペースということで考えると、やっぱり情報提供の仕方って重要かもしれな いです。ありがとうございます。ほかはいかがですか。はい、吉田さん。</p> |
| 吉田委員 | <p>あと、中・高校生世代に対してなんですけれども、特に中・高校生が多いと いう館があると思うんですが、日ごろ、この時間にはいけない子が児童館 に居場所としていたりするのも、ちらほら見かけます。そういう意味で、小学 校との連携というのもとても大切なんですけれども、中学校との連携も、何か しらきちんとしていかないと、ただ単純に児童館が子どもの受け皿だけでは、 やっぱり学校は全く知らないという状況が多々、特に中学校はあるのかなと思 うんですけれども、先ほど学校運営連絡会の小学校のところは皆さんご出席 いただいているということなんですけど、学校から来てねと言われない限りは参 加できないと思うので、例えば中学校では、そういう出席はされているんでし ょうか。</p> |
| 倉持会長 | <p>学校との連携ということですね。</p> |
| 吉田委員 | <p>そうです。</p> |
| 倉持会長 | <p>はい、いかがでしょう。</p> |
| 事務局（森） | <p>学校運営連絡会は、同じ人間が複数の学校の委員になれないのと、今まで中 学校に要請されたことはないので、現在は中学校の学校運営連絡会には児童館 からは出ていません。</p> <p>中学校とのそういった連携については、教育委員会が主催する集まりが年に 1回あるぐらいで、あとは個別の連携になるんですけれども、ただ、中学生の ことに関しては、はっきり言いづらいんですけど、学校に連絡することが子ど もたちの利益につながるかどうか、ということも私たちは判断しなければなら ない部分があります。例えば平日の昼間に中学生が来ているからといって、す ぐに学校に連絡という話にはちょっとなりづらい。子どもたちと話をして、子 どもたちがどういう形でここに来ているのかというのをちゃんと知った上で、 その後どうするかということになります。児童館を一つの居場所として考える べきではないかと思っています。ただ、例としては、そういった個々の中学生 について、学校と連携したことはあります。</p> |
| 吉田委員 | <p>おっしゃるように、今後、確かに中・高校生になられると思春期で、いろい ろさまざま報道もされていますけれども、難しい事件は、どういう支援のあり 方というのを、児童館としては、そこは方法論、それから検討課題としてもら うんですね。ありがとうございました。</p> |
| 倉持会長 | <p>それではよろしいですか。はい、ありがとうございました。 その他、何か事務局のほうから急な連絡事項はありますか。はい、大丈夫で</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>すね。次回は7月になりますね。それでは、これをもちまして平成29年度第3回小金井市児童館運営審議会を終わりたいと思います。</p> <p>皆さん、どうもありがとうございました。</p> |
|--|---|